

8 / 20 (火) の発表



北海道白老町に2020 OPEN!

報道発表資料の配付日時 8月20日(火) 15時00分

発表項目 (行事名)	令和元年北海道功労賞受賞者の決定について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○内容 令和元年北海道功労賞の受賞者が決定しましたので、発表します。</p> <p>○配付資料 (1)令和元年北海道功労賞の概要 (2)受賞者名簿 (3)受賞者の写真 (4)既受賞者一覧(過去5年)</p> <p>※ 受賞者の写真データが必要な場合は、提供いたしますので、人事課サービスグループにお問い合わせください。</p>		
参考			
報道(取材)に当たってのお願い	○ 道として最高位の表彰である北海道功労賞について、広く道民の皆さんにお知らせしたいと考えていますので積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付(場所) 同時レク		
担当(連絡先)	総務部人事局人事課 サービスグループ (担当者 久門) TEL ダイヤルイン 011-204-5027 内線 22-156		

令和元年北海道功労賞の概要

1 北海道功労賞の趣旨と制定の経緯

本道の経済・社会・文化等の発展に貢献し、その功労が特に顕著な個人又は団体に贈呈する賞で、知事が行う表彰の中で最高位のものであります。

昭和44年に北海道開発功労賞として制定（平成10年に賞の名称を北海道功労賞と改称）して以来、令和元年（2019年）で第51回目となります。

これまで、功労賞158名、14団体及び特別賞2名が受賞しています。

2 表彰の内容

(1) 受賞者

2名、1団体（別添名簿のとおり）

(2) 副賞等

肖像写真（額入り）及び受賞記念バッジなど（未定）

3 贈呈式の日時等

- ・日 時 令和元年10月～11月頃（予定）
- ・場 所 札幌市内

令和元年 北海道功労賞受賞者名簿

氏名	生年（設立）月日 <年齢>	主な役職等	功績名	功績の概要
こはら どうじょう 小原 道城	昭和 14 年 5 月 26 日 <80 歳>	書家 国際書道協会会長 一般財団法人 小原道城書道美術館代表理事 北海道書道連盟顧問	文化振興への貢献	書家として国内外で活躍し、常に豊かな表現や新しさを追求する作風は、高い評価を受けている。海外からも多くの出品がある「国際現代書道展」を昭和 44 年から毎年北海道で開催するほか、平成 25 年に書道美術館を開設し、日本や中国の大家の作品に加えて北海道の歴史と発展に係わる作品を展示紹介するなど、本道の文化振興に大きく貢献した。
しまむら あきよし 故 蔦村 彰禧	昭和 2 年 2 月 10 日 <享年 92 歳> 令和元年 7 月 25 日 死亡	北海道ワイン株式会社名誉会長	産業振興への貢献	昭和 49 年に北海道ワイン株式会社を創業し、国産ぶどうのみを使用したワインを醸造するという完全国産主義を貫き、道内最大のワインメーカーに育て上げるとともに、ぶどう農家への技術指導やワイン産業を担う人材育成に努めるなど、北海道が国内有数のワイン産地となった礎を築き、本道の産業振興に大きく貢献した。
こうえきざいだんほうじん 公益財団法人 ほっかいどうもうどうけんきょうかい 北海道盲導犬協会	昭和 45 年 11 月 8 日 設立	盲導犬訓練施設	社会福祉の推進への貢献	道内唯一の盲導犬訓練施設として昭和 45 年に設立して以降、活動資金の多くを道民からの寄附で支えられながら盲導犬の育成を行い、視覚に障がいのある方々への貸与等を通じて、本道の社会福祉の推進に大きく貢献した。冬期間の訓練及び育成技術は全国で唯一のものであり、道内のみならず、東北、北陸など積雪地域において高く評価されている。

※年齢は、発表日現在

北海道功労賞受賞者一覧

(平成26年～平成30年)

	氏名(年齢)	受賞の内容
平成26年 (第46回)	金井 昭雄 (72)	CSR(企業の社会的責任)の推進と国際貢献
	櫻庭 武弘 (73)	水産業の振興
	林 正博 (75)	林業の振興
平成27年 (第47回)	中村 睦男 (76)	アイヌ施策への貢献
	三宅 浩次 (81)	公衆衛生分野・医学教育への貢献
	安田 侃 (70)	文化振興の貢献
平成28年 (第48回)	喜田 宏 (72)	インフルエンザウイルスの生態解明と対策への貢献
	嶋宮 勤 (73)	食文化振興への貢献
	高向 巖 (77)	地域経済の発展と社会資本整備推進への貢献
	【特別賞】 伊藤 義郎 (89)	産業経済の振興への貢献をはじめ多分野における社会貢献
平成29年 (第49回)	佐伯 浩 (76)	学術教育への貢献
	手島 圭三郎 (82)	文化振興への貢献
	似鳥 昭雄 (73)	産業振興と文化振興への貢献
平成30年 (第50回)	岡田 淳子 (86)	学術振興と男女平等参画社会づくりの推進への貢献
	長瀬 清 (80)	地域医療の推進への貢献
	西村 紘一 (74)	産業振興への貢献
	藤戸 竹喜 (83)	文化振興への貢献

※ 年齢は受賞時現在の年齢